

事業者排出量削減計画書（新規）変更

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都市右京区太秦下刑部町12番地				
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	京都市公営企業管理者 交通局長 葛西 宗久				
事業者の主たる業種	自動車事業及び高速鉄道事業				
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上／タクシー150台以上／鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））				
計画期間	20年 4月 ～ 23年 3月				
基本方針	環境にやさしい公共交通機関である市バス・地下鉄への利用を促進し、自動車交通（マイカー）中心社会からの転換を図るとともに、低公害バス車両の導入や、職員への啓発、地下鉄の設備機器等の更新時に省エネ仕様のものを採用するなどハード・ソフトの両面からの対策を講じ温室効果ガス排出量の削減に取り組む。				
推進体制	京都市地球温暖化対策推進本部の各部会に構成員（各部門に1人）を中心に、実施計画及び進捗状況を管理する。				
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001			
	適用範囲	交通局本局庁舎			
	取得年月日	平成19年8月29日			
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	計画内容		
	20～22	事務系	電気、ガス、ガソリン等エネルギーを減らし、温室効果ガス排出量を3%削減する。		
		自動車事業	アイドリングストップ車両（157両）及び天然ガス車両（3両）の導入		
			軽油とバイオ燃料（20%）の混合燃料の使用		
			営業所バス留置時及びバス運行時のアイドリングストップの実施と職員への啓発		
高速鉄道事業	地下鉄駅換気設備のファンの運転時間を縮小する。 地下鉄駅照明機器の更新時に省エネ仕様のものを採用する。 換気用送排風機のファンベルト更新時に省エネ仕様のものを採用する。				
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）	
	A 事業所等排出区分	22,377 t	22,793 t	1.9 %	
	B 輸送車両排出区分	46,975 t	47,590 t	1.3 %	
	C その他排出区分	t	t	%	
	排出合計	*1 69,352 t	*2 70,383 t	1.5 %	
	目標設定の考え方	地下鉄事業において、平成19年度に新駅が増設（2駅）されたため、目標年度数値が基準年度より増加するものである。			
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）
	事務系	二酸化炭素換算 延床面積	0.10176 t-CO ₂ /m ²	0.10110 t-CO ₂ /m ²	-0.6 %
	自動車事業	二酸化炭素換算 走行距離数	0.00132 t-CO ₂ /km	0.00130 t-CO ₂ /km	-1.5 %
	高速鉄道事業	二酸化炭素換算 走行距離数	0.00160 t-CO ₂ /km	0.00168 t-CO ₂ /km	5.0 %
	原単位の指標及び計画数値設定の考え方	自動車事業及び高速鉄道事業において、走行距離数の目標値が未定であるため、基準年度の数値を代用しているが、路線の新設等により走行距離数は増加することから、総排出量が増加しても原単位当たりの排出量は減少する見込みである。			
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			
		取組量等		（二酸化炭素換算）	
	森林の保全及び整備	（整備面積） ha	（吸収量） t		
	府内産の木材の利用	（利用量） m ³	（削減量） t		
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（売電量） kwh	（削減量） t		
		（熱供給量） GJ	（削減量） t		
	グリーン電力の購入	（購入量） kwh	（削減量） t		
削減量等合計		*3 t			
差引排出量 （排出合計－削減等合計）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）		
	*1 69,352 t	（*2）-（*3） 70383 t	1.5 %		
地球温暖化対策に資する社会貢献活動					